

## 坂戸、鶴ヶ島水道企業団議会傍聴規則

平成 18 年 3 月 20 日

議会規則第 2 号

改正 平成 30 年 2 月 15 日

議会規則第 3 号

(この規則の目的)

**第 1 条** この規則は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 130 条第 3 項の規定に基づき、傍聴に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(傍聴席の区分)

**第 2 条** 傍聴席は、一般席及び報道関係者席に分ける。

(傍聴人の定員)

**第 3 条** 一般席の傍聴人の定員は、10 人とする。ただし、議長が必要と認めたときは、定員を変更することができる。

(傍聴の手続)

**第 4 条** 会議を傍聴しようとする者は、所定の場所で自己の住所及び氏名を傍聴人受付簿に記入しなければならない。

(傍聴券)

**第 5 条** 議長は、必要があると認めるときは、前条の規定にかかわらず傍聴券を交付することができる。

2 傍聴券は、会議当日所定の場所で先着順により交付する。

3 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に住所及び氏名を記入しなければならない。

4 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができる。

5 傍聴人が入場しようとするときは、所定の入口で傍聴券を提示しなければならない。

6 傍聴人は、係員から要求を受けたときは、傍聴券を提示しなければならない。

7 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴を終え退場しようとするときは、これを返還しなければならない。

(議場への入場禁止)

**第 6 条** 傍聴人は、議場に入ることができない。

(傍聴席に入ることができない者)

**第 7 条** 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

(1) 銃器、棒その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者

(2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、垂れ幕の類を携帯している者

(3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者

- (4) 笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
  - (5) 下駄、木製サンダルの類を履いている者
  - (6) 酒気を帯びていると認められる者
  - (7) 異様な服装をしている者
  - (8) その他議事を妨害することを疑うに足る顕著な事情が認められる者
- 2 議長は、必要と認めるときは、傍聴人に対し、係員をして、前項第1号から第4号までに規定する物品を携帯しているか否かを質問させることができる。
- 3 議長は、前項の質問を受けた者がこれに応じないときは、その者の入場を禁止することができる。

(傍聴人の守るべき事項)

**第8条** 傍聴人は、傍聴席にあるときは、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は張り紙、旗、垂れ幕の類を掲げる等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、コート、マフラー等を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) 携帯電話の電源は切っておくこと。
- (7) みだりに席を離れないこと。
- (8) 不体裁な行為又は他人の迷惑となるような行為をしないこと。
- (9) その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

(写真、ビデオ等の撮影及び録音等の禁止)

**第9条** 傍聴人は、傍聴席において写真、ビデオ等を撮影し又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た場合は、この限りでない。

(係員の指示)

**第10条** 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

**第11条** 傍聴人がこの規則に違反するときは、議長は、これを制止、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

## 附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## 附 則(平成30年議会規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。